

おさわり探偵 小沢里奈

この企画書は、実際にゲームとして商品化された企画書です。

『おさわり探偵 小沢里奈』  
ニンテンドーDS専用ソフト。ジャンルは  
「おさわりアドベンチャー」で2006年発売されました。  
DSのタッチスクリーンを生かし、そのインパクトのあるタイ  
トル名と独特のイラストにより話題となり、  
続編『おさわり探偵 小沢里奈 シーズン2 1/2』、  
3DS『おさわり探偵 小沢里奈 ライジング3』も発売。

主人公・小沢里奈の助手として登場したなめこは  
公式グッズが作られ、スマホ版『おさわり探偵 なめこ栽培  
キット』もリリースされ活躍中です。

2005/6/23



おさわりの探偵   
小沢里奈

企画書

実例  
4

『おさわりの探偵 小沢里奈』企画書

## ■タイトル

おさわりの探偵『小沢里奈(おさわ りな)』

## ■基本内容

ジャンル           おさわりのアドベンチャー  
プラットフォーム   NINTENDO DS  
プレイ人数           1人

## ■コンセプト

- ・ 画面に表示された気になるポイントや、証拠品をタッチして調べるアドベンチャーゲーム  
奥行きのある1枚絵(スクロールする場合も有)、あるいはクォータービュー画面で、  
調査を行い、謎を解いていきます。
- ・ シャーロックホームズや切り裂きジャックが活躍した古いヨーロッパ調をベースに  
日本人、外国人、モンスターが同居する何でもありな独自の世界を提供します。  
現実の世界では聞いたこともないような事件の調査ができます。

## ■ストーリーとゲームシステム

- 4話のストーリーと、簡単にシステムに入り込むことができるような、導入編を提供。各話を通して登場する町の住人が、ストーリーを盛り上げます。
- 導入編 → 第一話 というように、各話をクリアするごとに新しい物語を選択することができます。
- マップ上には、タッチすることで調べることができるポイントが多数設定されています。  
時には、物語と関係ないリアクションを楽しむこともできます。
- 豊富なアイテムとそれを使った謎解きのための仕掛けを用意します。  
隠されたアイテムを探して、手に入れるという遊び方もできます。

## ■ゲーム概要

モンスターと人が喧騒とした街を歩く暗い世界。

この不思議な世界を相手に日々活躍する女探偵『おさわりの小沢里奈』。

小沢探偵事務所の女所長だ。

実は、里奈はまだ駆け出しの新米女探偵。亡くなった父の後を継ぎ、この探偵事務所の所長になった。

お父さんはいなくなったけれど、持ち前のマイペースさで、  
厳しい世の中を渡っていくのだ。えらいぞ。

友達や、ライバルと一緒に謎を解き明かし、事件を解決していこう!

## ■キャラクター



小沢里奈(おざわりな)  
由緒正しき探偵。  
あんまり社交的じゃない。  
ちょっとたどたどしいしゃべりかた。



なめこ  
小沢里奈といっしょに事務所で働いている。  
りなの有能な助手。  
口癖(なきごえ?):「んふんふ」



ちとせ  
りなのライバル  
自称名探偵(探偵という職業にもものすごく憧れている)。  
事件をひっかきまわすのが得意。  
おもいこみが激しい。



まなみ  
りなの友達。  
しょっちゅう事件にまきこまれる。  
(全シナリオとも、なんらかの形で被害者になる予定)  
おっとりした雰囲気的美少女。



じい  
小沢家の執事  
発明狂で、いつも変わった装置を開発している。

### そのほかのキャラクターたち



## ■ストーリー構成例

※ 内容はこれからの開発過程で変わる可能性があります。

### 導入編

じいが探偵業務に関してレクチャーする。

数回の尋問とアイテム使用でクリアできる程度のボリューム。

いわゆる推理クイズ程度の内容で、探偵事務所内だけで完結するレベルのもの。

怪しいものの調べ方や、証拠になりそうなアイテムの判断の仕方など操作の仕方を身につけるためのシナリオ。

### 第1話

なんと、まなみの夢が盗まれたという。

夢泥棒を捕まえて欲しいと依頼される。りなは半信半疑のまま捜査を開始するが……。

### 第2話

りなの友達のまなみが行方不明になる。

捜索依頼を受け、りなは捜査を開始する。

### 第3話

季節は春。

妖精の国に帰りそくなって、スケートリンクに住み着いてる雪の妖精がいた。  
とりあえず次の冬までここですごそうと思っていたのだが…。

### 第4話

町にサーカスがやってきた。

芸人であるノミたちを狙うという、犯人からの予告が届く。  
犯行を阻止するために奮闘するりなたちだったが、  
ノミたちは次々に命を落としていってしまう…。



## ■グラフィックイメージ

ちょっと暗めで、怖いけど可愛いグラフィックイメージ。

上画面は主人公のコメントなど、ゲーム中の情報が表示され、メインのゲームは下の画面で進行していきます。

## ■操作

下画面でタッチしたところへ移動します。タッチしたポイントに、何かある場合は調査することができます。

手に入れたアイテムなどは、詳細画面で気になるところをチェックしたり、つついたり、こすったりして詳しく観察することができます。

## ■さわって解決

気になるポイントは下画面で、タッチすることで調査することができます。

事件を解決するのに必要な情報が見つかったり、アイテムを入手したりできます。



### ・上画面

上画面では主人公が現在の状況の解説や、先に進むためのヒント、自分の感想などを考えています。

時にはゲームとは直接関係のないことを考えていることもあります。

### ・下画面

現在の周囲の状況が表示されます。

この画面の中から、気になるポイントを見つけてタッチして調査を行います。

下のリストからスライドして、使用する場所へ持って行くと、アイテムを使うこともできます。

## ■アイテムの詳細確認

手に入れたアイテムは、詳細確認画面でタッチペンを使って細かくチェックすることができます。

アイテムによっては、仕掛けが施してあるものもあります。タッチペンでアクションを加えることによって、ゲーム中でストーリーを進展させるために使用できる状態になります。

たとえば・・・

汚れたコインを『こする』  
『引っかく』  
『スイッチを入れる』  
etc...

ほこりを『はらう』  
『穴を開ける』

## ■いろいろな場所を調査

ゲーム中ではいろいろな場所で調査を行うことができます。  
 移動できるマップは、1つの町をベースにしていますが、  
 関係のありそうな場所のみをピックアップすることで、  
 快適に調査を進めることができます。

